

ごあいさつ

皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに平成27年度中間期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の営業の概要と決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

当中間会計期間におけるわが国の経済は、個人消費の持ち直しが見られた一方で、中国経済や新興国経済減速の影響から、企業では在庫調整や設備投資に先送りの動きが見られるなど、景気は足踏みをして踊り場を迎えましたが、円安・原油安を背景とした企業収益の好調な推移により、雇用・所得環境が改善を続けたことから、緩やかな回復基調が持続しました。

このような経済状況のもと当行は、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の計画期間とする経営強化計画「プランフェニックスⅣ」を策定いたしました。本計画では、「靴底を減らす活動」、「雨でも傘をさし続ける銀行」、「謙虚さのDNAを忘れない銀行」の3つをモットーとして、前経営強化計画「プランフェニックスⅢ」で取り組んでまいりましたお客様の本業支援と経営改善支援を、より一層強化・進化（深化）させてまいります。

平成27年度中間期においては、お客様の本業支援では、販路拡大や商品の紹介等のビジネスマッチングや群馬大学や前橋工科大学との共同研究支援、関東経済産業局・中小基盤整備機構などと連携したもののづくり補助金など各種補助金申請アシスト、大手企業との技術連携紹介、大手食品系・大手工業系バイヤーとの個別商談会、大手企業を退職した専門知識のある人材をお客様に紹介する「新現役交流会」の開催、海外進出支援など、お客様の売上増加や経営課題の解決につながる提案活動に取り組んでまいりました。また、お客様のビジネスチャンスを広げるために、平成26年12月に筑波銀行、栃木銀行と締結した「北関東3行広域連携協定」に基づき、共同商談会の開催などお客様のビジネスマッチングを積極的に実施してまいりました。

さらに、まち・ひと・しごと創生法に基づく「地方版総合戦略」の策定支援のため「地方創生推進室」を設置するとともに、地方創生の一環として設置された「群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点」に当行行員を派遣するなど、地域経済の活性化に取り組む体制を整備しております。

経営改善支援では、経営改善計画の策定支援や経営指導を行っているほか、中小企業再生支援協議会や地域経済活性化支援機構など外部機関等の知見やサポート機能を活用した経営改善支援に取り組んでおります。

お客様の本業支援に経営資源を集中させてきた結果、平成27年度中間期の預金残高は、前年同期比543億円増加の1兆8,649億円、貸出金残高は、同283億円増加の1兆3,392億円、事業性貸出先数は、取引先紹介運動の効果もあり、前年同期比810先増加の13,917先となりました。

平成27年度中間期の収益状況につきましては、中小企業向け貸出を中心とした貸出金残高が増加し、資金利益が堅調に推移したことから、コア業務純益49億円、経常利益45億円となり、中間純利益は38億円を計上することができました。

また、当行は、従来より女性行員の役員・支店長を含む役席者への登用に積極的に取り組むとともに、平成27年5月には、育児休業制度の拡充や子育て休暇を新設するなど、仕事と子育ての両立支援にも取り組んでおります。平成28年4月には「女性活躍推進法」が施行されることから、今まで以上に基幹業務への積極登用や働きやすい職場環境の整備を行い、性別にかかわらず多様な人材が活躍できるように努めてまいります。

群馬県と埼玉県の2つの無尽会社を起源としている当行は、これからも「謙虚さのDNA」を肝に銘じ、今まで以上にお客様回りを徹底し、事業性評価力の向上や、女性の活躍推進など人材育成、強化を図り、お客様との強固なリレーションの構築と経営基盤の強化に努め、地域社会の発展、活性化に貢献してまいりますので、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年1月

株式会社 東和銀行
代表取締役頭取

吉永國光